

大学生のテキストメッセージングにおける感情伝達の正確さと確信度

加藤由樹*1, 加藤尚吾*2

*1 相模女子大学/教育テスト研究センター, *2 東京女子大学/教育テスト研究センター

2018年度の継続研究として、2019年秋に大学生を対象にスマートフォンを用いたテキストメッセージングにおける感情伝達に関する実験を実施した。実験では、感情伝達の正確さに加えて、感情伝達における送受信者の確信度をポジティブ感情とネガティブ感情に分けて測定した。得られたデータを分析した結果、感情伝達の正確さについては、これまでと同様にポジティブ感情はネガティブ感情に比べて高いことを確認した。また確信度に関する主な結果は、メールのやり取りの特に返信時において、以下であった。1) 相手に伝えたい感情のうち、ポジティブ感情が伝わる確信度が高いほど伝達の不正確さが小さい。2) メール文から解釈する感情のうち、ポジティブ感情の解釈の正しさの確信度が高いほど伝達の不正確さが小さい。3) 相手に生じてほしい感情のうち、ポジティブ感情が生じる確信度が高いほど不正確さが小さい。すなわち、やり取りの様々な側面におけるポジティブ感情に関わる確信度が高いことと伝達の正確さが高いこととの関連が考えられる。

本研究の知見が教育現場において情報教育等で応用されることが期待される。

キーワード：情報教育、コミュニケーション、テキストメッセージング、感情伝達

謝辞

実験にあたり、参加者の手配や会場の準備などに関して教育テスト研究センターの多大な助成を得ました。深く感謝致します。